

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
 (中間配当 9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル) 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 (トラストラウンジは除く) みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のお支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

公告方法 電子公告 (<http://www.okayaelec.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に保有していただきたく、毎年3月末の当社株主名簿に記載された方々を対象に、株主優待制度を実施いたします。

《優待内容》

300株以上 500株未満 おこめ券 2kg分
 500株以上 1,000株未満 おこめ券 5kg分
 1,000株以上 おこめ券 10kg分



300株以上500株未満を **3年以上** おこめ券1kg分追加

500株以上を **3年以上** おこめ券2kg分追加

※毎年3月末日時点の株主名簿に、同一株主番号にて4回以上連続で記載された株主様。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

単元未満株式（100株未満の株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却することができます。また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株式数（100株）に不足する株式を買い増して、100株単位にまとめることもできます。「単元未満株式を売却する」、「単元未満株式を100株に買い増す」という株主様は、口座を開設されているお取引証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録されている株主様は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社へお申し出ください。

株主名簿管理人 〒168-8507
 特別口座管理機関 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)

Components of the future



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済につきましては、緩やかな回復が期待される一方で、米中貿易摩擦の激化や中国における景気減速等、様々な懸念が指摘されています。また、国内経済についても、設備投資及び個人消費に改善がみられるものの、米国の通商政策や金融資本市場の変動の影響等、様々なリスク要因が顕在化しています。

このような経済環境のなか、当社は2018年4月に策定した第10次中期経営計画のもと、経営ビジョンである「車載産業への参入」に向けた開発力と生産力の基礎固めを研究開発投資、組織再編成等様々な側面にて進めております。また、その方針のもと開発を進めている新たな共振コンデンサについては、2019年度中の製品化を目指しております。

当連結会計年度の販売面につきましては、特に主要な海外市場である中国における売上が伸び悩んだこと等により、前年度の売上高を下回る結果となりました。

生産・技術面につきましては、自動化の推進やIoTの活用、新製品の立ち上げにより、確実に利益を生み出す体制の構築に取り組んでおります。

なお、コンデンサの取引に関する競争法規制当局による調査は、米国及び台湾においては終了していますが、他の複数の国においては継続中です。米国における集団民事訴訟については、2016年4月に和解が成立しましたが、一部の企業が当該和解から離脱したため対応を継続しています。また、カナダにおける集団民事訴訟については、原告側と和解の合意に至りましたが、当該和解が発効されるためには、今後管轄裁判所の承認を得る必要があります。

また、前年度発生した当社元従業員による不正行為については、刑事告訴を行う等の措置を進めております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は130億70百万円（前年比96%）、営業利益は1億94百万円（同26%）、経常利益は1億71百万円（同30%）となりました。なお、前述のコンデンサ取引に関する訴訟の対応並びに繰延税金資産の取り崩しを行った結果、親会社株主に帰属する当期純損失は6億70百万円（前年は4億36百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

なお、期末配当につきましては、遺憾ながら見送りとさせていただきます。株主の皆様のご期待に応えるべく収益の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

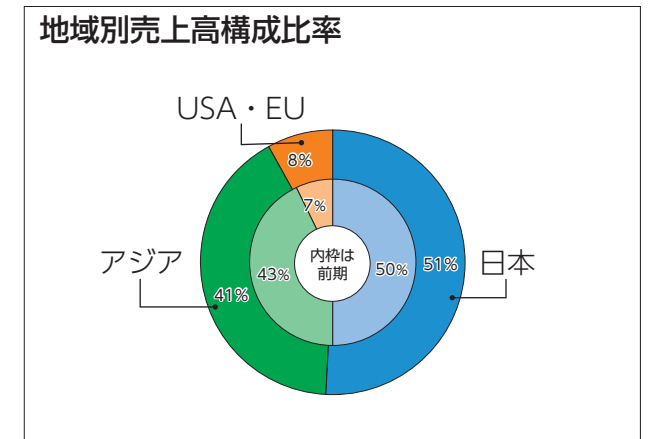
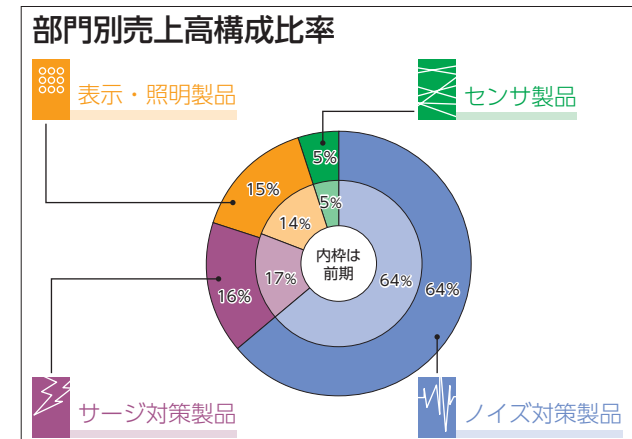
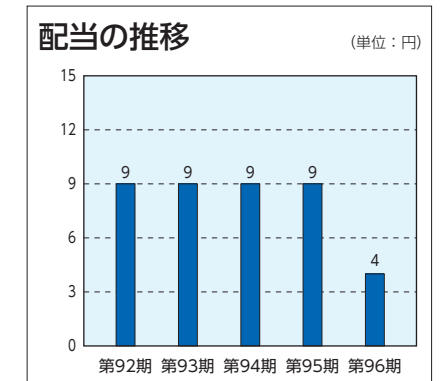
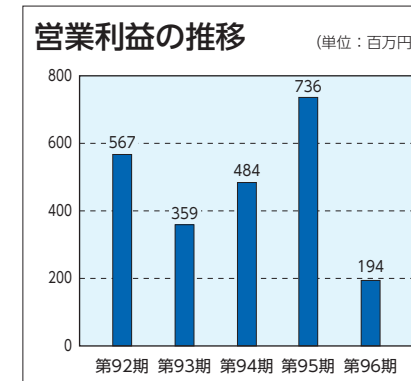
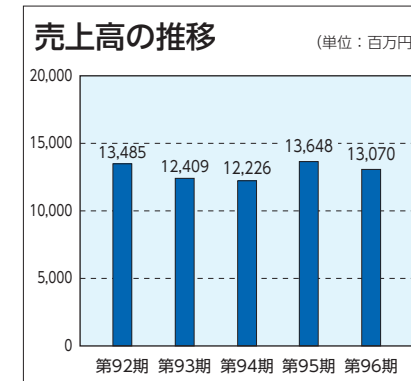
2019年6月



代表取締役
社長執行役員 山田尚人

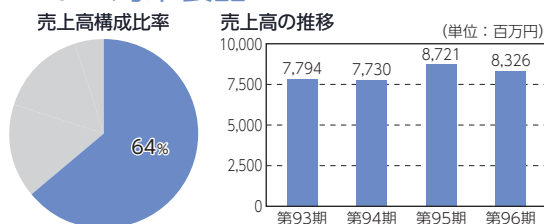
決算ハイライト

売上高	130億70百万円	(前期比)	96%
営業利益	1億94百万円	(前期比)	26%
親会社株主に帰属する当期純利益	△6億70百万円	(前期比)	—



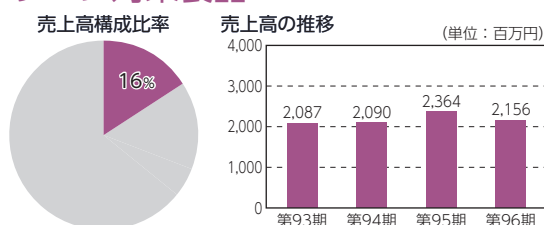
製品部門別の概況

ノイズ対策製品



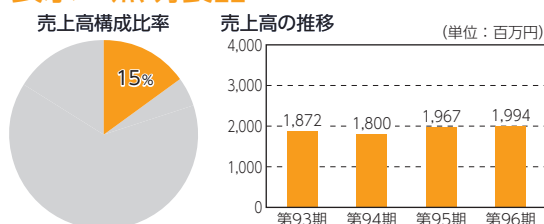
国内及び東南アジアにおけるエアコン向けは好調を維持しましたが、中国市場については売上が減少しました。また、産業機器向けについては、特に海外において売上が伸び悩み、ノイズ対策製品の売上高は83億26百万円（前年比95%）となりました。

サージ対策製品



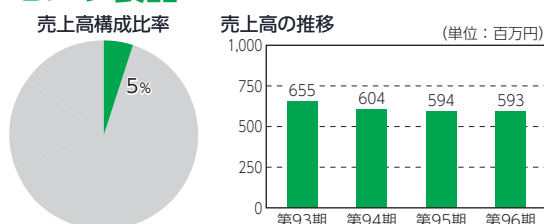
国内におけるエアコン向けの売上が伸びており、また海外でも好調を維持しました。しかし、海外における産業機器向けが減少した結果、サージ対策製品の売上高は21億56百万円（同91%）となりました。

表示・照明製品



海外においては産業機器向けが減少しましたが、国内における照明用LEDが好調を維持し、表示・照明製品の売上高は19億94百万円（同101%）となりました。

センサ製品



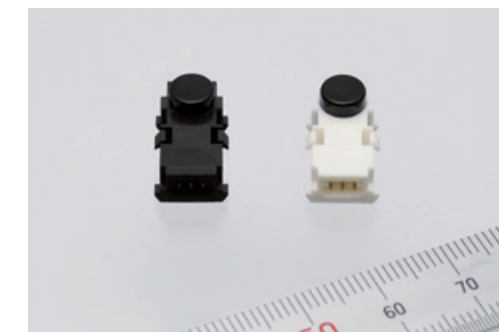
産業機器向けエンコーダ用及び金融機器向けが減少するものの、時計指針補正用が増加した結果、センサ製品の売上高は5億93百万円（同100%）となりました。

OKAYA info

◆製品のご紹介～防塵型フォトインタラプタ

家庭用・オフィス用を問わず、プリンタの内部には紙を検知するフォトインタラプタと呼ばれるセンサが組み込まれています。しかし長期間の使用により発生する埃や機械内部の飛散物でセンサが汚れ、検出精度が低下するという問題がありました。

当社の防塵型フォトインタラプタは、光学部分に樹脂を注入することでその問題を解決しました。当社製品はこのような分野でも、皆さんの便利な生活を支えています。



◆スリランカ工場設立10周年

当社スリランカ工場（オカヤランカプライベートリミテッド）が設立10周年を迎え、2018年12月16日に記念式典を執り行いました。当日は、日本大使館、取引先及び周辺企業、スリランカ関係省庁の皆様等多くのお客様をお迎えし、当社社長・山田尚人が日頃のご支援・ご愛顧へ感謝の気持ちをお伝えしました。

また電波新聞社が発行するASIA ELECTRIC INDUSTRY誌でもその様子が紹介され、多くの方々へ当社スリランカ工場を知っていただく好機ともなりました。



◆エレクトロニカ・チャイナ2019出展

2019年3月20日から22日にかけて、中国上海新国際博覧中心にて「エレクトロニカ・チャイナ2019」が開催され、当社は現地商社であるETHOS社を通じて主にノイズ対策製品、サージ対策製品のPRを行いました。

本展示会は23カ国から1,374社が出展する大規模なもので、7万人を超える方が来場されました。当社は今後も様々なルートを用いて潜在顧客の開拓に努めてまいります。



決算概要

貸借対照表 (連結)

(単位: 百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,561	10,544
固定資産	4,918	5,300
資産合計	14,479	15,845
負債の部		
流動負債	3,215	3,404
固定負債	3,066	3,104
負債合計	6,281	6,509

損益計算書 (連結)

(単位: 百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	13,070	13,648
売上原価	9,972	10,054
販売費及び一般管理費	2,904	2,856
営業利益	194	736
営業外収益	132	156
営業外費用	155	321
経常利益	171	571
特別利益	1	60
特別損失	320	35
税金等調整前当期純利益	△146	596
法人税等	523	159
親会社株主に帰属する当期純利益	△670	436

(単位: 百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
純資産の部		
資本金	2,295	2,295
資本剰余金	1,931	1,931
利益剰余金	2,907	3,782
自己株式	△192	△192
株主資本	6,942	7,817
その他の包括利益累計額	1,256	1,518
純資産合計	8,198	9,335
負債純資産合計	14,479	15,845

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

(単位: 百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	330	△404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△541	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350	1,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△93
現金及び現金同等物の増減額	△518	341
現金及び現金同等物の期首残高	2,758	2,416
現金及び現金同等物の期末残高	2,240	2,758

会社概要・役員

(2019年4月1日現在)

創立	1946年6月1日
資本金	2,295,169千円
本社	東京都世田谷区
東関東営業所 / 西関東営業所	東京都世田谷区
名古屋営業所	名古屋市中区
大阪営業所	大阪府福島区
長野出張所	長野県岡谷市
福岡出張所	福岡市博多区
埼玉技術センター	埼玉県行田市
長野技術センター	長野県岡谷市
グループ関係会社	
東北オカヤ株式会社	O S D 株式会社
岡谷香港有限公司	東莞岡谷電子有限公司
OKAYA LANKA (PRIVATE) LIMITED	岡谷香港貿易有限公司
OKAYA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.	OKAYA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE LTD
OKAYA ELECTRIC AMERICA, INC.	

(2019年6月26日現在)

取締役・監査役			
代表取締役	山田尚人	取締役	清田宗明
取締役	高屋鋪明	取締役	昨間英之
※取締役	房前芳一	取締役	吉村太一
※常勤監査役	吉野卓	監査役	湯澤公明
※監査役		監査役	

執行役員			
社長	山田尚人	執行役員	清田宗明
専務	高屋鋪明	執行役員	本間勤
上席	中山政道	執行役員	黒崎力
上席	加藤学	執行役員	三澤武二
執行役員	翠尾賢	執行役員	水内賢二

*印は、社外役員であります。

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	22,921,562株
株主数	12,419名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託沖電気工業口	36,020 百株	15.86 %
明治安田生命保険相互会社	20,660	9.09
T P R 株式会社	14,400	6.34
株式会社みずほ銀行	10,824	4.77
岡谷企業財形会	6,953	3.06
安田不動産株式会社	6,385	2.81
みずほ信託銀行株式会社	4,650	2.05
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	3,654	1.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,472	1.53
岡谷電機産業従業員投資会	3,390	1.49

(注) 持株比率は自己株式 (205,519株) を控除して計算しております。

所有者別分布状況

